

被ばく線量の分布等について

1. 被ばく線量

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の過去3ヶ月の外部被ばく線量分布（各月別の全入域者数）を表1に示す。

表1

区分(mSv)	H24.12月			H25.1月			H25.2月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10超え～20以下	0	8	8	0	8	8	0	34	34
5超え～10以下	10	170	180	3	113	116	2	239	241
1超え～5以下	149	1,294	1,443	93	1,222	1,315	96	1,351	1,447
1以下	852	3,159	4,011	875	3,570	4,445	708	3,654	4,362
計	1,011	4,631	5,642	971	4,913	5,884	806	5,278	6,084
最大(mSv)	7.40	15.85	15.85	7.10	12.65	12.65	5.43	17.44	17.44
平均(mSv)	0.57	1.09	1.00	0.41	0.93	0.85	0.45	1.19	1.09

これらの数値は入域毎のAPD値の積算値を用いているが、積算型線量計による月間線量値へ置き換えること等により変動することがある。

2. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の1月末(H23.3.11～H25.1.31)と2月末(H23.3.11～H25.2.28)の累積線量分布の比較を表2に、1月末(H24.4～H25.1)と2月末(H24.4～H25.2)の累積線量分布を表3に示す。

表2

区分(mSv)	H23.3～H25.1月			H23.3～H25.2月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6	6	0	6	0	0	0
200超え～250以下	1	2	3	1	2	3	0	0	0
150超え～200以下	22	2	24	22	2	24	0	0	0
100超え～150以下	117	17	134	117	17	134	0	0	0
75超え～100以下	227	66	293	228	66	294	1	0	1
50超え～75以下	303	455	758	303	483	786	0	28	28
20超え～50以下	601	3,079	3,680	605	3,181	3,786	4	102	106
10超え～20以下	484	3,316	3,800	486	3,395	3,881	2	79	81
5超え～10以下	393	3,054	3,447	394	3,080	3,474	1	26	27
1超え～5以下	604	5,812	6,416	606	5,898	6,504	2	86	88
1以下	883	6,393	7,276	887	6,529	7,416	4	136	140
計	3,641	22,196	25,837	3,655	22,653	26,308	14	457	471
最大(mSv)	678.80	238.42	678.80	678.80	238.42	678.80	-	-	-
平均(mSv)	24.83	9.76	11.88	24.84	9.84	11.92	-	-	-

外部線量の数値は入域毎のAPD値の積算値を用いているが、積算型線量計による月間線量値へ置き換えること等により変動することがある

H23.10月以降、有意な内部取り込みは認められていない

表 3

区分(mSv)	H24.4～H25.1月			H24.4～H25.2月			H24年度増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下 *	0	0	0	1	0	1	1	0	1
20超え～50以下	47	340	387	53	438	491	6	98	104
10超え～20以下	107	1,360	1,467	115	1,595	1,710	8	235	243
5超え～10以下	241	1,710	1,951	239	1,733	1,972	-2	23	21
1超え～5以下	595	3,145	3,740	601	3,225	3,826	6	80	86
1以下	573	3,961	4,534	576	4,082	4,658	3	121	124
計	1,563	10,516	12,079	1,585	11,073	12,658	22	557	579
最大(mSv)	46.80	41.22	46.80	51.81	41.45	51.81	-	-	-
平均(mSv)	3.99	4.71	4.62	4.17	5.04	4.93	-	-	-

* : 区分(mSv) 50超え～75以下の東電社員1名は、特定高線量作業従事者
外部線量の数値は入域毎のAPD値の積算値を用いているが、積算型線量計による月間線量値へ置き換えること等により変動することがある。

3. 特定高線量作業従事者の外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

特定高線量作業従事者¹の累積線量分布を表4に示す。

表 4

区分(mSv)	H24.12月	H25.1月	H25.2月	H23.3月～H25.2月
100超え	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	106
50超え～75以下	0	0	0	180
20超え～50以下	0	0	0	178
10超え～20以下	0	0	0	50
5超え～10以下	10	3	2	46
1超え～5以下	134	87	92	35
1以下	443	504	512	11
計	587	594	606	606
最大(mSv)	7.40	7.10	5.43	94.95
平均(mSv)	0.93	0.61	0.71	45.42

(2月は特定高線量作業従事者の内、189名については入域実績なし)

1 特定高線量作業従事者

電離放射線障害防止規則第7条の緊急被ばく限度(100mSv)が適用されるとされている作業に従事する者。具体的には、発電所に属する原子炉施設並びに蒸気タービン及びその付属設備又はその周辺の区域であって、その線量が1時間につき0.1mSvを超えるおそれのある場所において、原子炉施設若しくは使用済燃料貯蔵槽を冷却する設備の機能を維持するための作業を行うとき又は原子炉施設の故障、破損等により多量の放射性物質の放出のおそれのある場合に、これを抑制若しくは防止するための機能を維持するための作業に従事する者を指す。

なお、これまでの特定高線量作業従事者については東電社員のみが対象者である。

以上